

# 向きを変えれば、 追い風になる。

世界では「サーキュラーエコノミー」への移行が急速に加速しています。資源の枯渇。環境汚染。日本の企業も例外なく、対策が求められています。

向かい風か、追い風か。捉え方ひとつで、  
たくさんのチャンスが見つかります。

競争ではなく、共創を。

自治体、教育機関、民間企業が連携すれば、  
地方から世界を変えることもできるはずです。

サーキュラーエコノミー  
チャンスは、地方にある

## サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウムin愛知

2024.12.20



13:00 - 16:30 (予定)  
開場 12:30



ミッドランドホール

名古屋市千種区名駅四丁目7番1号 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F

プログラム

13:00～ 行政によるCE推進	13:30～ 大学のCE連携	13:50～ 企業のCE推進
<p>田中 将吾 経済産業省 GXグループ 資源循環経済課課長</p>  <p>サーキュラーエコノミー 実現に向けた産官学連携</p>	<p>鈴木 寿明 蒲郡市長</p>  <p>蒲郡市が目指す サーキュラーシティ</p>	<p>松田 亮太郎 名古屋大学大学院 工学研究科教授</p>  <p>資源・エネルギーを 自分で作る未来へ</p> <p>永井 隆之 トヨタ自動車株式会社 CE推進室室長</p>  <p>トヨタにおけるサーキュラー エコノミーへの取組み</p> <p>長谷川 祐貴 株式会社 Sharing FACTORY</p>  <p>工場の“困った”を シェアリングで解決</p> <p>西田 宏平 株式会社 TOWING 代表取締役</p>  <p>持続可能な超循環型農業を 地球・宇宙で実現する</p>



ファシリテーター  
山下 史哲  
株式会社新東通信  
CIRCULAR DESIGN STUDIO.  
スタジオ長



司会  
多田 えりか

\*プログラム内容や時間は事前の予告なく変更の可能性があります。予めご了承ください。

# PROGRAM シンポジウムプログラム

行政によるCE推進	13:00	サーキュラーエコノミー 実現に向けた産官学連携	経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 課長 田中 将吾	
	13:15	蒲郡市が目指す サーキュラーシティ	蒲郡市長 鈴木 寿明	
大学のCE連携	13:30	資源・エネルギーを 自分で作る未来へ	名古屋大学大学院 工学研究科 教授 (COI-NEXT 変環共創拠点 拠点長) 松田 亮太郎	
	13:50	トヨタにおけるサーキュラー エコノミーへの取組み	トヨタ自動車株式会社 先進技術開発 カンパニープロジェクト領域 CE推進室 室長 永井 隆之	
企業のCE推進	14:35	工場の“困った”を シェアリングで解決	株式会社 Sharing FACTORY 長谷川 祐貴	
	14:50	持続可能な超循環型農業を 地球・宇宙で実現する	株式会社TOWING 代表取締役 西田 宏平	
	15:05	パネルディスカッション ※5分間の質疑応答あり	経済産業省/トヨタ自動車/ Sharing FACTORY/TOWING ファシリテーション:株式会社新東通信 CIRCULAR DESIGN STUDIO. スタジオ長 山下 史哲	
議論・交流会	15:50	Meetup (ネットワーキング)	名刺交換&ネットワーキングの 時間をご用意	

## サーキュラーエコノミー(CE)とは

大量生産・大量廃棄から脱却し、始めから廃棄や汚染を生み出さない仕組みをつくる経済モデル。資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、ストックを有効活用しながらサービス化等を通じ、付加価値を最大化させることを目指す。



始めから  
廃棄物を  
出さない



## シンポジウムへの 参加申し込みはこちら▶

WEBサイト:<https://business.form-mailer.jp/lp/41b6d914265098> 申し込みフォーム



株式会社ランドマークス「サーキュラーエコノミーシンポジウム」係  
電話:052-990-3796(平日10:00~17:00) MAIL:ce-entry@lms-g.jp